

成就すとて、請狀を認奉公人と成、同十七日菩提樹の實ふると云、善光寺如來の奇瑞とかや、按水

實也、鳥の糞に交りて有之也、風來山人菩提樹の辨を作る、

〔山城名勝志十四〕建仁寺號東山、五山第三、在四條南、大和路東五條北、○中略 菩提樹今在護國院

〔駿國雜志二十六〕菩提樹

有渡郡久能御山御寶塔の後にあり、參拜の者此實を捨て守りとす、

〔紀伊續風土記物産六下〕菩提樹譯名

もと漢種なり、元亨釋書の榮西傳に、建久元年天台山の菩提樹を本邦へ渡し、筑前糟屋郡香椎の神祠に初てうゑし事見えたり、其後諸州に種を傳へて、今本國寺院に多し、

ヘラノ木

〔大和本草十二〕ヘラノ木 葉ハ棕ノ木、桑及木槿ニ似タリ、長セントスル時早ク其株ヲ切レバ、一

根ヨリ多ク叢生ス、小ナル時不切、一株長ズレバ大木トナル、體ノ木ノ叢生アリ、喬木アルガ如シ、其皮ヲ剝テ麻ヲ製スル如ニシテ繩トス、農夫是ヲ以馬具ニ作ル、又農夫皮ヲ以腰蓑ニツクル、又コレヲ以ムシロヲル絲トス、本艸喬木類ニ莢遂アリ、葉似木槿小、樹皮堪爲索トイヘリ、疑ラクハ是ナルベシ、葉ノ間ヨリ菩提子ノ如ナル薄葉生ジテ、其薄葉ノ半ヨリ實ナルコト恰如菩提子、

奇物ナリ、

檀香

〔倭名類聚抄二十〕栴檀仙壇ニ音、唐韻云、栴檀、俗云善短、香木也、內典云、赤者謂之牛頭栴檀、

〔箋注倭名類聚抄十〕廣韻同、山田本旃作栴、下總本作栴、按龍龕手鑑、栴俗作旃、其形略似、按栴檀古

借旃字、蓋梵語對譯也、从木俗字詳見於下、然此引唐韻、則從木爲是、○中法華經玄贊云、旃檀者、赤謂牛頭旃檀、黑謂紫檀之屬、白謂白檀之屬、此所引蓋是、○中香要抄引玄贊亦從木、恐皆非是、按慧

琳音義云、白檀、唐蘭反、香木名也、白赤俱香、赤者爲上、梵云贊那曩、古譯云栴檀香、是也、法華音訓云、旃檀那、謂牛頭旃檀等、古作旃丹、切韻作栴、非也、是知旃檀梵語無其字、或作贊那曩、或作旃檀那、或